

リーダー人材を育てる
本学独自のプログラム

市大塾

第7期生募集!

5月スタート

リーダーシップは特別な能力ではありません。学ぶ意欲があれば、誰でも習得することができ、社会において求められる素養です。

「市大塾」はリーダー人材を育成する1年間の正課外の教育プログラムです。学部や学年を越えた本音の討論や体験、さまざまな分野のゲスト講師との交流によって、自らの可能性を磨いてみませんか。

募集期間

2024年

3月29日金～4月19日金

対象

本学学部1年生～3年生
(入学予定者を含む)

募集人員

10名程度
(面接を行います。面接日は5/7(火)、8(水)の6限を予定)

応募方法やプログラムの詳細は大学ウェブサイトの市大塾のページをご覧ください。



第6期の活動報告と修了式を4月11日(木)18時から、図書館2Fのいちこもで行います。興味のある人は傍聴に来てください。



←質問などはこちらまで
地域共創センター
shakai@m.hiroshima-cu.ac.jp



平和、人権、地域をテーマに



リーダーシップとは何かを学ぶ



さまざまな現地体験やディスカッション



多彩なリーダー講師

Voice

市大塾 最終レポートより



岩室 怜弥

第6期修了 情報科学部

リーダーの中心にあるものは、自分がやりたいと思えること、「夢」だ。純粋にしたいと思えたことはどんな理想よりも強い。その夢が支えとなり、自分やチームが進歩していく最大の原動力になる。原点にあるものを再認識した一年だった。



大谷 千早

第6期修了 国際学部

切磋琢磨できる塾生の仲間、地域リーダーや特別講師と出会えたことに感謝。この塾での経験は、私にリーダーシップ以前の人間性(主体性や協調性、学ぶ姿勢など)の向上をもたらし、大学生生活に大きなスタートダッシュを促してくれた。



大島 粹

第6期修了 国際学部

「自分が今何をしたいのか」「どんなふう生きていくのか」を考えようとする心理状態に何度もなった。市大塾での活動は凄く心地よくて、感触がよくて、色々なことを考えたくなくて、こういう経験はどこでもできるものではないだろうと思う。



塾長



若林真一 学長

市大塾は大学の正課、つまり正規科目ではありません。単位も出ません。しかしながら正課では身に付けることが難しいけれども、とても重要なこと、例えば良く生きるための知恵、人に共感する力、人と共に未来を創る協働力、そしてリーダーシップ。市大塾はそうした知恵と力を現場での体験とディスカッションを通して実践的に学び、考え、塾生同士で切磋琢磨することで身に付ける場だと私は考えています。

副塾長



國本善平 特任教授
 (教育基盤センター)

この塾に参加した人はみな大きく伸びて修了していきます。私のこれまでの実感です。未知の体験、刺激的な人たちとの出会い、役立つスキル、そんなプログラムが待っています。「自分はこんなものだ」と留まっている人、挑戦してみましょう。気づいていない能力や可能性が底光りしています。まず一歩、踏み出してみませんか。皆さんの「自分開発」をお手伝いします。きっと面白い1年間になりますよ。

平尾順平 特任准教授
 (教育基盤センター)



いま日本は新しい時代へと突入しています。気候の変動であり、人口の減少であり、AIなどのテクノロジーによるイノベーションが随所で起こる時代です。日本だけではなく、地球上の誰も経験したことのない時代です。そんな時代を生き抜いていくための大切な価値観や考え方、社会を見る視点などについて、次世代の主役である皆さんと、一緒に考え、活動できることを楽しみにしています！

プログラムの概要

平和、人権、地域をテーマとして、ゲスト講師による講話やディスカッションを行う学内プログラム、土日や夏季休業期間での現場体験や施設訪問を行う学外プログラム、そして、塾生が自ら企画する自主プログラムで構成。

経費

遠距離の交通費や合宿の宿泊代は大学が負担。食事代、入館料等は塾生負担。

主な予定プログラム

学内プログラムは木曜日6限、学外プログラムは土日等に実施します。

前期

学内

- 入塾式(5/16)
- ガイダンス
- 「宇宙飛行士選抜試験」から人間力を考える
- リーダーシップ概論
- 伝え方講座
- ヒロシマ被爆体験講話
- ヒロシマ・戦争・平和を考える
- 地域をポジティブに変える

学外

- 合宿2回(5/25・26佐伯区湯来町、6/29・30南区似島町)
- ひろしまシン大学の活動参加
- 平和記念公園を歩く
- 回天記念館見学(周南市)
- 似島戦跡フィールドワーク
- 平和記念式典参加

後期

学内

- ビブリオバトル
- 地域リーダーについて考える
- 人権が尊重される社会・ハンセン病から学ぶ
- 差別と偏見・社会的包摂について考える
- ファシリテーションを学ぶ
- 私のリーダー論発表
- 修了式(4月)

学外

- 広島ハチドリ舎訪問
- 江田島フウト訪問
- 安芸高田市訪問
- 国立療養所長島愛生園訪問(瀬戸内市)
- 広島夜回りの会の支援物資配布活動参加

ゲスト講師 (予定・敬称略)

玉田陽子・パーソナリティ、佐藤亮太・NPO 湯来観光地域づくり公社理事長、松波龍一・日本焚火学会、宮崎佳都夫・似島歴史ボランティアガイドの会会長、安彦恵里香・ソーシャルブックカフェハチドリ舎主宰、後藤峻・一般社団法人フウド代表理事、南澤克彦・安芸高田市市議会議員、福岡奈織・イニアビ農園、田村朋久・長島愛生園学芸員、播磨聡・広島夜回りの会副代表、四條知恵・広島平和研究所准教授